

# 総社市の財政

(財政事情の公表)

平成18年度 決算の概要  
平成19年度 上半期財政運営状況

平成19年11月30日

総社市総務部財政課

# 平成18年度 一般会計決算の概要

○平成18年度総社市一般会計決算は、歳入決算額237億3,564万7千円に対し、歳出決算額230億6,869万1千円で、差し引き6億6,695万6千円の残額を生じております。このうち、繰越明許費繰越財源1億7,512万9千円を差し引いた実質収支額は、4億9,182万7千円となっています。

○歳入では、平成17年度に比べ、国から交付される地方交付税が1億5,248万7千円減額となる一方、市税が2億5,544万3千円、地方譲与税が2億7,477万4千円それぞれ増額となっています。歳入のうち、市税などの市独自でまかなうことのできる自主財源は、全体の43.2%で、残りは国、県の補助金や市債などの財源に依存しています。

○歳出では、新規採用の抑制に伴い、人件費が大幅に減少。また、電算処理委託料などの物件費も減少しました。その一方で、おかやま国体に向けての大型事業の市債の償還が本格的に始まったことに伴い、元金の償還や利子の支払いである公債費が増額となりました。

○今後はさらに過去に借り入れた市債の償還のため公債費が増加することから、歳入の確保と事務事業の見直し及び経常経費の圧縮を図り、より一層の健全財政に努める必要があります。

## 平成18年度決算の概要

平成18年度の各会計の決算は次のとおりとなりました。

(単位：千円)

会計区分	歳入 A	歳出 B	差引 C	19年度への 繰越財源 D	実質収支 C-D	
一般会計	23,735,647	23,068,691	666,956	175,129	491,827	
特別会計	国民健康保険	5,845,108	5,219,466	625,642	0	625,642
	老人保健	6,226,545	6,144,315	82,230	0	82,230
	介護保険	3,711,915	3,501,297	210,618	3,505	207,113
	農業集落排水事業費	733,182	728,973	4,209	0	4,209
	国民宿舎事業費	882,426	845,554	36,872	0	36,872
	総社駅南地区土地 区画整理事業費	963,403	883,120	80,283	80,231	52
	公共下水道事業費	2,719,380	2,718,804	576	68	508
計	21,081,959	20,041,529	1,040,430	83,804	956,626	

平成18年度に行った主な事業（一般会計）

(単位 千円)

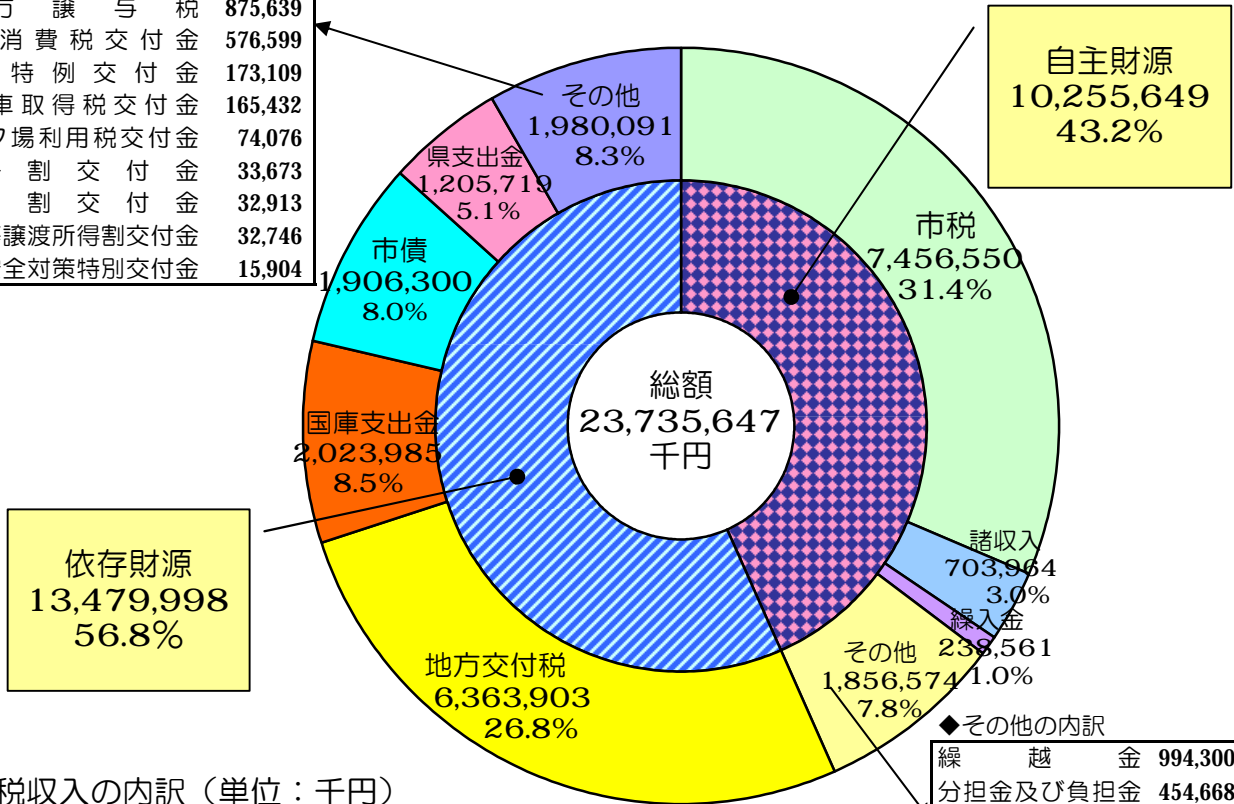
・新世代地域ケーブルテレビの整備	103,315
・雪舟没後500年顕彰事業	2,608
・児童手当の支給	449,655
・小児医療費の給付	172,456
・老人保健健康診査事業	126,568
・ごみ収集事業	174,081
・宿地区のほ場整備	22,223
・井山公衆便所の整備	33,808
・清音駅東地区の整備	483,485
・清音神在本線改良事業	153,800
・洪水ハザードマップの作成	4,631
・昭和中学校屋内運動場の改築	177,388
・鬼城山の環境整備	79,039

# 歳入の状況（一般会計）

## ● 歳入の概要（単位：千円）

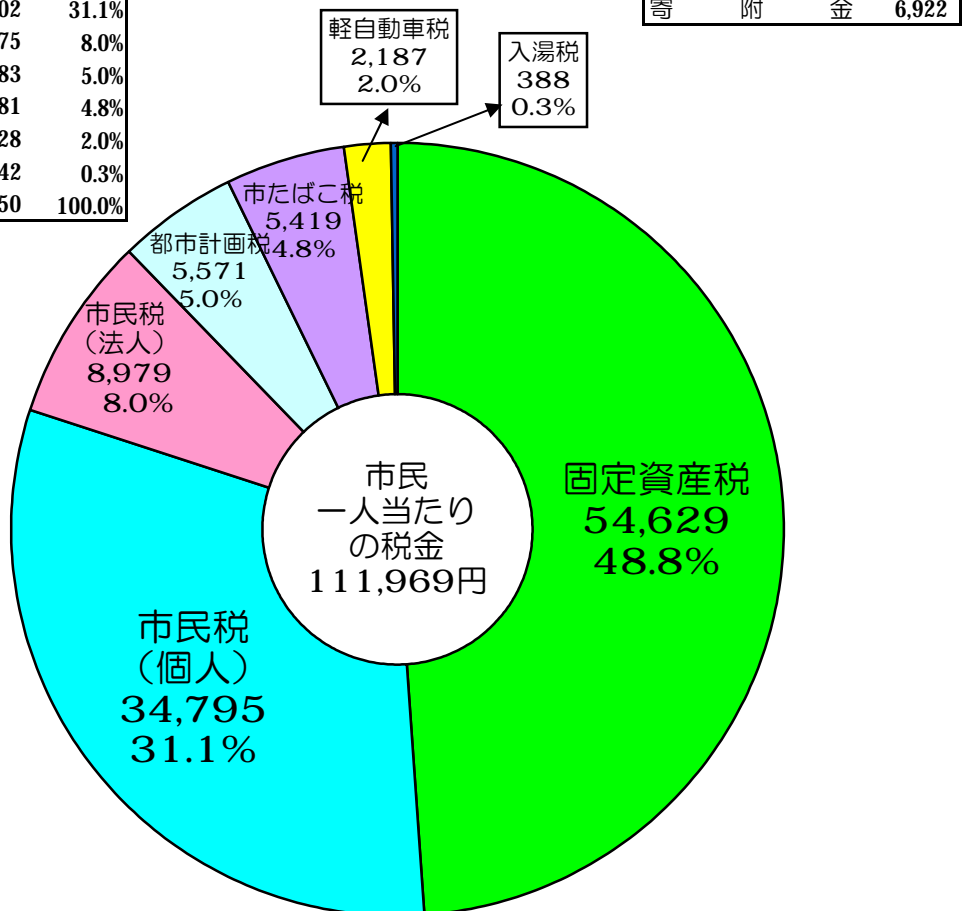
### ◆その他の内訳

地方譲与税	875,639
地方消費税交付金	576,599
地方特例交付金	173,109
自動車取得税交付金	165,432
ゴルフ場利用税交付金	74,076
利子割交付金	33,673
配当割交付金	32,913
株式等譲渡所得割交付金	32,746
交通安全対策特別交付金	15,904



## ●市税収入の内訳（単位：千円）

固定資産税	3,638,039	48.8%
市民税（個人）	2,317,202	31.1%
市民税（法人）	597,975	8.0%
都市計画税	370,983	5.0%
市たばこ税	360,881	4.8%
軽自動車税	145,628	2.0%
入湯税	25,842	0.3%
合計	7,456,550	100.0%



### ◆その他の内訳

繰越金	994,300
分担金及び負担金	454,668
使用料及び手数料	373,586
財産収入	27,098
寄附金	6,922

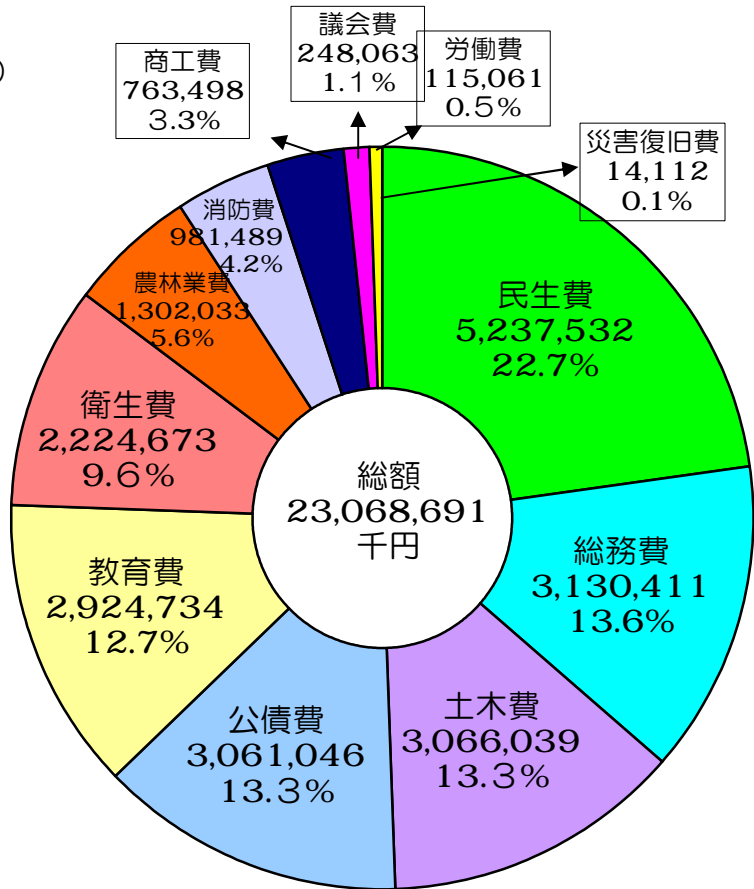
# 歳出の状況（一般会計）

## ● 歳出の概要

## ◆ 目的別決算の内訳（単位：千円）

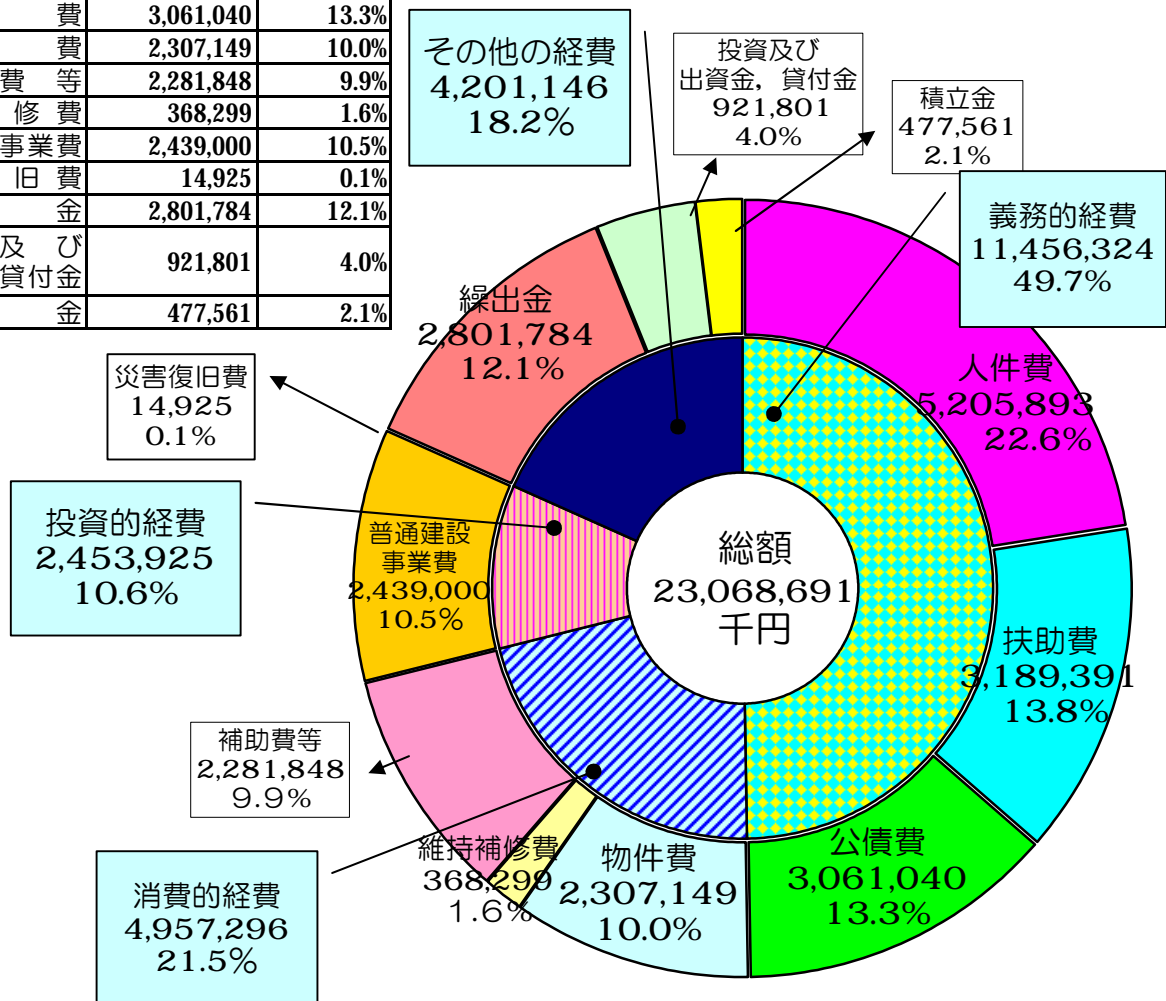
科目	決算額	構成比
民生費	5,237,532	22.7%
総務費	3,130,411	13.6%
土木費	3,066,039	13.3%
公債費	3,061,046	13.3%
教育費	2,924,734	12.7%
衛生費	2,224,673	9.6%
農林業費	1,302,033	5.6%
消防費	981,489	4.2%
商工費	763,498	3.3%
議会費	248,063	1.1%
労働費	115,061	0.5%
災害復旧費	14,112	0.1%
歳出合計	23,068,691	100.0%

市民一人当たりの経費  
346,403円



## ◆ 性質別決算の内訳（単位：千円）

区分	決算額	構成比
人件費	5,205,893	22.6%
扶助費	3,189,391	13.8%
公債費	3,061,040	13.3%
物件費	2,307,149	10.0%
補助費等	2,281,848	9.9%
維持補修費	368,299	1.6%
普通建設事業費	2,439,000	10.5%
災害復旧費	14,925	0.1%
繰出金	2,801,784	12.1%
投資及び出資金、貸付金	921,801	4.0%
積立金	477,561	2.1%

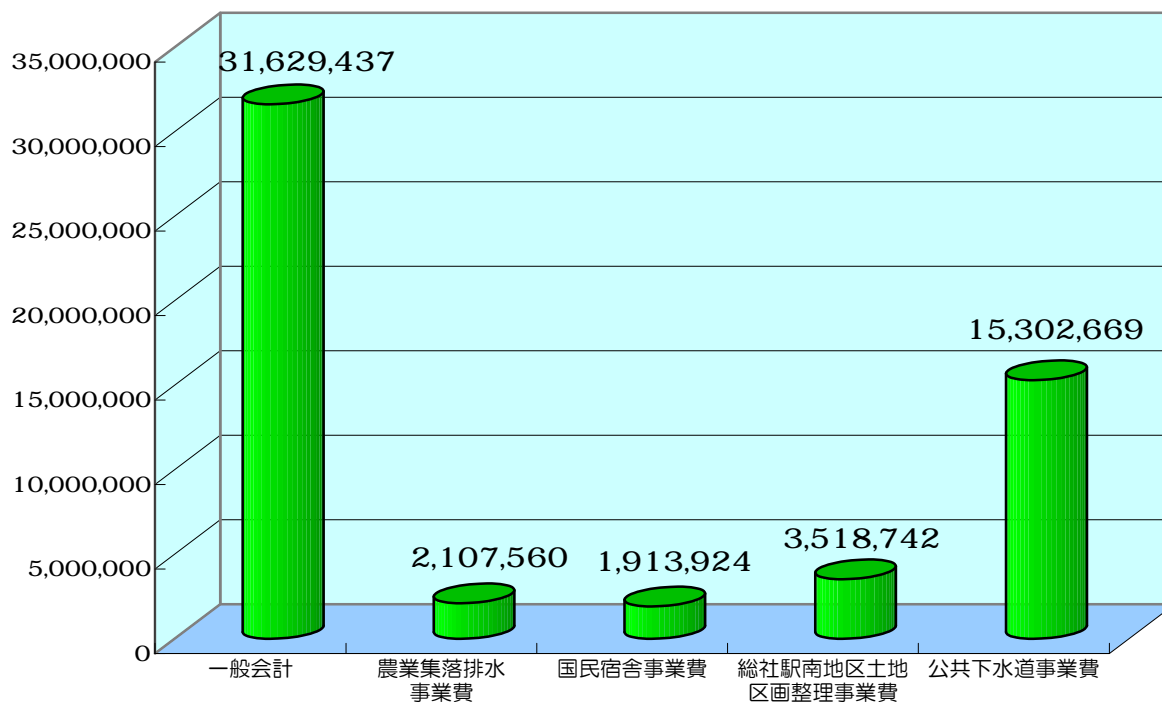


地方債現在高（平成18年度末）

（単位：千円）

会 計 別		現 在 高
一 般 会 計		31,629,437
特 別 会 計	農 業 集 落 排 水 事 業 費	2,107,560
	国 民 宿 舎 事 業 費	1,913,924
	総社駅南地区土地区画整理事業費	3,518,742
	公 共 下 水 道 事 業 費	15,302,669
計		22,842,895
合 計		54,472,332

（単位：千円）



# 平成19年度上半期の財政事情

○本年度上半期の財政状況については、景気が全体としては民間需要中心に緩やかに拡大しているものの、歳入面では、企業収益の好調を背景に、市民税を主として市税収入が回復基調にある一方で、地方交付税が削減されたことなどにより、全体としては伸び悩んでいるところであります。また、歳出面では、過去の借入金の償還負担の増加や社会保障関係経費の増加が顕著となるなど、義務的経費の増加により財政状況は依然として厳しく、予算編成に当たっても収支不足に対応するために多額の基金の取崩しを余儀なくされたところであります。また、本年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行されたことに伴い、今後はわかりやすい財政情報の開示等が義務付けられ、なお一層の財政状況の透明化が求められるようになりました。このため、効率的で持続可能な財政運営への転換を図ることが急務であり、行政改革大綱に基づいて、一層の行政改革に取り組むことはもちろんのこと、大型プロジェクトについても、その必要性、緊急性などを再度検討し、限られた財源を重点的に配分するなど、歳入歳出両面において、あらゆる取組みを積極的に進めることが必要になっていきます。

○このような財政状況ではありますが、総社市総合計画に定めた総社市の将来都市像【地域・文化・自然が支える心豊かな生活交流都市】の実現のため、わたしたちが考え、わたしたちが実行していくまちづくりに取り組んでまいります。

## 平成19年度上半期財政運営の状況

### ■市有財産の状況（平成19年9月30日現在）

区 分		現在高	
公有財産	土 地	4,659,340 m <sup>2</sup>	
	建 物	251,014 m <sup>2</sup>	
	山 林	1,601,709 m <sup>2</sup>	
	有 価 証 券	333,153,541 円	
	出資による権利	3,290,428,275 円	
債 権	335,970,890 円		
基 金	普 通 会 計	財 政 調 整 基 金	1,782,117,673 円
		減 債 基 金	985,264,345 円
		職 員 退 職 手 当 基 金	817,299,707 円
		ま ち づ く り 基 金	570,419,708 円
		総社駅南地区土地区画 整理事業基金	52,336,363 円
		小計（以上5基金）	4,207,437,796 円
		その他特定目的基金	1,026,772,105 円
	計	5,234,209,901 円	
	国民健康保険事業基金	767,845,838 円	
	介護給付費準備基金	174,152,108 円	
	国民宿舎運営基金	157,028,000 円	
	公共下水道事業基金	405,233,557 円	
合 計	6,738,469,404 円		



■一時借入金の現在高（平成19年9月30日現在）

（単位 千円）

会計区分	現在高
一般会計	0
国民健康保険特別会計	0
介護保険特別会計	0

■基金繰替運用の状況（平成19年9月30日現在）

（単位 千円）

区分	繰替運用金
財政調整基金	0
減債基金	0
職員退職手当基金	0

※基金繰替運用とは、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することです。

■債務負担行為の状況（平成19年度9月補正予算まで）

（一般会計）

（単位 千円）

科目	件数	限度額	当該年度以降の 支出予定額
総務費	1	14,700	11,865
農林業費	254	5,076,765	2,580,162
土木費	2	487,462	386,295
合計	257	5,578,927	2,978,322

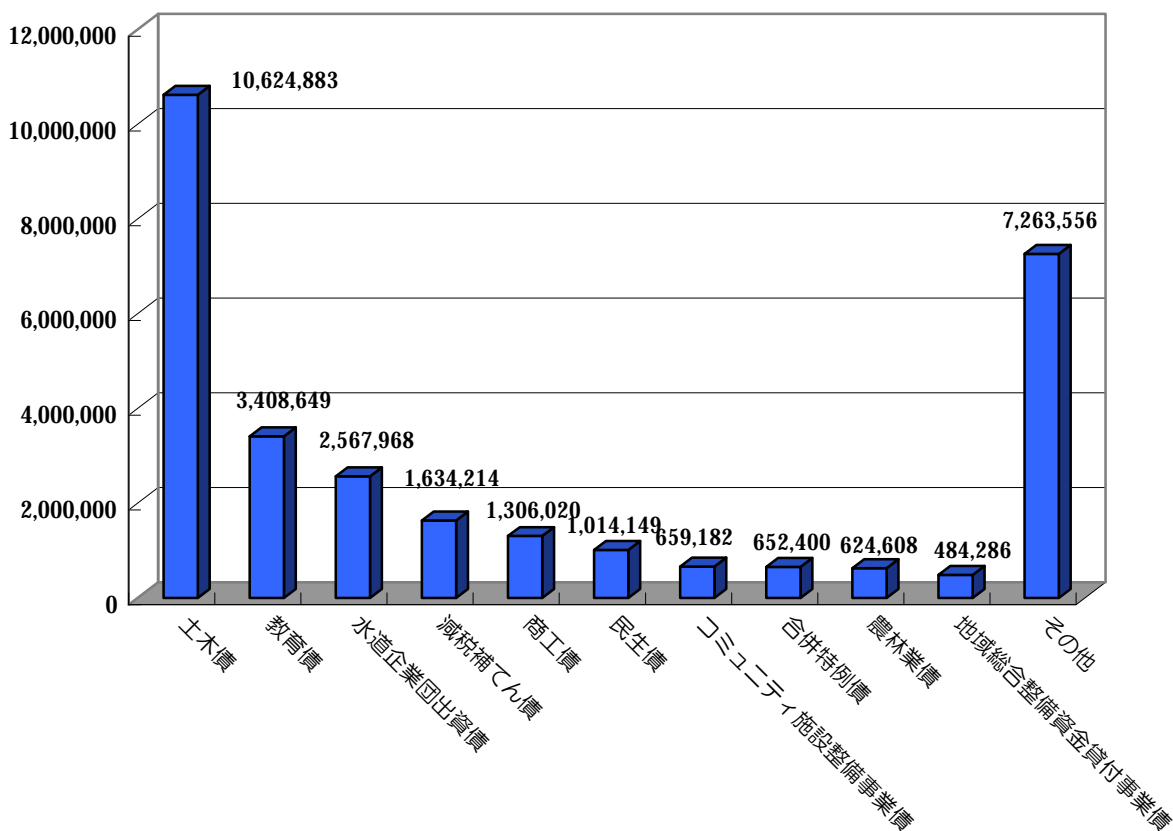
※限度額が文言等で記載されているもの

- ・農業近代化資金利子補給ほか 4件
- ・損失補償に関するもの 1件
- ・債務保証に関するもの 4件

## 市債の現在高（一般会計）

平成19年度末 市債現在高見込額 30,239,915千円

(単位：千円)



## 市債の現在高（特別会計）

平成19年度末 市債現在高見込額 22,582,799千円

(単位：千円)

